

（毎月二百六十九日二十日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行）

縣報 第六百七十六號

明治四十年六月廿一日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣告示第百三十四號

明治三十七年七月本縣告示第百七拾五號警察署分署管轄區域中古座分署管轄ノ佐本村ヲ削リ周參分署管轄ニ佐本村ヲ加ヘ明治四十年七月一日ヨリ施行ス

明治四十年六月十八日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

○和歌山縣告示第百三十五號

神奈川縣ニ於テベスト豫防ノ爲メ同縣横濱市ヨリ搬出スル藍襖、古綿、古着、古紙、古麻囊、古敷物、掃寄物等ニハ蒸氣消毒若クハ煮沸消毒ヲ古俵、古革皮、古羽毛ニハ藥品消毒ヲ行ヒ消毒済ノ者ニ對シテハ左記第一號様式ノ證明書ヲ無病地ヨリノ輸入ニシテ病毒汚染ノ虞ナレト認メタル者ニハ第二號様式ノ證明書ヲ所轄警察官署ニ於テ交付スル旨通知アリタリ

明治四十年六月十九日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

第一號様式

第二號様式

第 一 種 類	搬出許可証明書	第 一 種 類	搬出許可証明書
一個數		一個數	

縣報第六百七十六號

明治四拾年六月廿一日 第三種郵便物認可

○和歌山縣告示第百三十六號

神奈川縣ニ於テベスト病豫防ノ爲メ左記縣令發布ノ旨通知アリタリ

明治四十年六月十九日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

神奈川縣令第六十四號

ベスト豫防上必要ト認メ横濱市内ヨリ襪、古着、古綿、古紙、古革皮、古羽毛、古麻囊、古俵、古菰、古敷物類、及掃キ寄セ米穀綿屑等ヲ他地方ニ搬出スルユトヲ禁ス但シ相當消毒ノ上警察官署ノ許可ヲ得其証明書ヲ受ケタル者及無病地ヨリ輸入ニ係リ其包裝ヲ解カサルモノニシテ病毒汚染ノ虞ナシト認メタル者ハ此限ニアラス
本令ニ違背シタル者ハ拾圓以下ノ罰金ニ處ス

一數量
一荷主氏名
一輸送地名
右ハ消毒済
年月日
神奈川縣
何署

一數量
一荷主氏名
一輸送地名
右ハベスト無病地ヨリ輸入シ包裝ヲ解ナカサルモノニシテ該病毒汚染ノ虞キモノト認ム
年月日
神奈川縣
何署

本令ハ發布ノ日ヨリ之レチ施行ス

明治四十年六月十一日

神奈川縣知事 周 布 公 平

○和歌山縣告示第三百三十七號

左記ノ者死亡ノ旨ヲ以テ取消願出ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス

明治四十年六月十九日

和歌山縣知事 伊 澤 多 喜 男

伊都郡山田村大字山田五十五番地

開業產婆

竹 下 テ イ

○和歌山縣告示第三百三十八號

山口縣ニ於テ巡查退隱料及遺族扶助料請求手續左ノ通規定セラレタリ

明治四十年六月十九日

和歌山縣知事 伊 澤 多 喜 男

山口縣告示第三百二十號

巡查退隱料及遺族扶助料請求手續

第一條 退隱料扶助料若ハ一時金ノ給與ヲ受クヘキ權利ヲ有スル者ヨリ當廳ニ提出スル請求書ハ

第一號乃至第三號書式ニ依ルヘシ

退隱料ノ増加ヲ請求セントスルトキ亦同シ

第二條 巡查看守退隱料及遺族扶助料法第五條第七條第二項但書及第十三條ノ場合ニハ其ノ旨ヲ

本人ノ最後ニ在勤セシ警察官署ニ届出ヘシ但シ必要アル場合ニ於テハ相當醫師ヲシテ檢診セシ

ムルコトアルヘシ

第三條 退隱料扶助料若ハ一時金ノ給與証書ハ第四號又ハ第五號書式ニ依ル

第四條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者ハ各支給月五日迄ニ第六號乃至第十一號書式ニ依リ現住地

ノ市町村長ノ証明ヲ求メ當廳ニ請求スヘシ

第五條 前條ニ依リ証明ノ請求ヲ受ケタル市町村長ハ巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十一條第

十二條及第十四條(第二項ヲ除ク)ノ事實ヲ調査シ之レカ證明ヲ爲スヘシ

第六條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者死亡シタルトキハ其ノ親族、權利消滅シタルトキハ本人ヨ

リ其ノ證書ヲ添ヘ事實ノ生シタル日ヨリ十日以内ニ當廳ニ届出ヘシ

第七條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者本籍又ハ住所ヲ轉シ若ハ氏名ヲ變更シタルトキハ退隱料又

ハ扶助料證書ヲ添ヘ事實ノ生シタル日ヨリ十日以内ニ當廳ニ届出ヘシ但シ住所ノ移轉届ニ付テ

ハ證書ノ添付ヲ要セス

第八條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クルモノハ其ノ支給ヲ停止セラルヘキ事由ノ生シタルトキハ本人

又ハ親族ヨリ事實ノ生シタル日ヨリ十日以内ニ當廳ニ届出ヘシ

第九條 水火震災其ノ他ノ事由ニ依リ證書ヲ亡失シタルトキハ事實ノ生シタル日ヨリ十日以内ニ

所轄警察官署ノ證明ヲ得テ當廳ニ其再渡ヲ請フヘシ

附 則

第十條 巡查看守給助例ニ依リ巡查退職給助、傷痍給助、死亡給助ヲ受クヘキ者ニ下附スル證書

ハ第三條ノ書式ニ準ス

第十一條 巡查看守給助例ニ依リ支給スル巡查ノ退職給助、傷痍給助、死亡給助ハ其ノ年額ヲ四

月及十月ニ於テ其ノ前六ヶ箇月分ヲ支給ス

第十二條 前條ニ依リ給助ヲ受クヘキ者ハ其ノ期月五日迄ニ當廳ニ請求スヘシ
請求ニ關スル手續ハ本則第四條及第五條ヲ適用ス

第十三條 巡查看守給助例ニ依リ巡査ノ退職給助、傷痍給助、死亡給助ヲ受クル者ハ第六條乃至
第九條ヲ準用ス

明治三十五年四月二十五日

山口縣知事 武田千代三郎

第一號書式

(用紙美濃紙)

巡査退隱料請求書

(一時金モ筆之)

明治何年何月何日山口縣巡査拜命以來滿何年以上在職ノ處明治何年何月何日退職候ニ付テハ明治
三十四年法律第三十八號巡査看守退隱料及遺族扶助料法第何條何項
別紙履歷書及戶籍謄本相添此段及請求候也
何府縣何郡市町村何番地(本籍及住所共)
元何警察(分)署詰巡査何級俸

某 儀

年 月 日

山口縣知事宛

何

某 印

第二號書式

(用紙美濃紙)

巡査遺族扶助料請求書

明治何年何月何日山口縣巡査拜命以來滿何年以上在職ノ處明治何年何月何日死亡候ニ付テハ明治
某 儀

三十四年法律第三十八號巡查看守退隱料及遺族扶助料法第何條第何項何號ニ據リ相當扶助料支給相成度別紙在職履歷書及戶籍謄本相添此段請求候也

年 月 日

山口縣知事宛

第三號書式

(用紙美濃紙) [アハハ朱書

在職履歷書

何府縣何郡市何町村何番地(本籍及住所共)
元何警察(分)署詰巡查何某寡婦(子)(父母)
何 某 印

元何警察(分)署詰巡查

位 勳 氏 名

生年月日

退職當時何年
何ヶ月トナニ

何年何月何日	山口縣巡查ヲ命ス	山口縣
全	巡查教習所詰ヲ命ス	全
全	巡查教習所課程修了	巡查教習所

全	「全」	何警察署詰ヲ命ス	山口縣
全	「全」	「巡查ノ職務ヲ以テ從軍何地ヘ出張」	「
全	「全」	「何々地出張中何々司令官又ハ何々旅團長ヨリ何々ノ軍務ニ從事スヘキ命令ヲ受出張ス」(辭令書アレハ其寫ヲ添付スヘシ)	
全	「全」	「戰地何々地ニ進ム」	
全	「全」	「從軍ヲ解カル」(辭令書アラハ其寫ヲ添付スヘシ)	
全	「全」	「歸廳」	
全	「全」	何級俸給與	
全	「全」	「俸給例改正ニ付何級俸相當」	
全	「全」	依願巡查ヲ免ス(退職事由ヲ記入スヘシ)	

右ノ通相違無之候也

年 月 日

氏 名 印

第四號書式

(用紙印刷局紙横一尺二寸縦七寸五分五厘)

第 號

退 隱 料 証 書
(扶 助)

元職(扶助料)元職氏名
(ナレハ)

寡婦(子)父母祖父母

氏 名

年 月 日 生

表

退 隱 料 年 額 金 何 圓 明 治 年 月 日 巡 査 看 守 退 隱 料 及 遺 族 扶 助 料 法 ニ 依 リ 前 記 ノ

(扶 助) 料 年 額 金 何 圓 起 算

退 隱 料 受 受 へ キ コ ト ナ 認 メ 此 証 書 ヲ 附 與 ス

明 治 年 月 日

位 勤 知 事 名

裏

此證書ハ賣買讓與質入スルコトヲ得ス

此證書ノ年額ハ毎年四月、七月、十月、一月ニ其ノ前三ヶ月分ヲ給ス

本人氏名ヲ改メタルトキハ此證書ヲ添ヘ其旨届出ヘシ

本人死亡若ハ權利消滅シタルトキハ證書ヲ添ヘ事實ノ生シタル日ヨリ十日以内ニ届出ヘシ

水火盜難其ノ他ノ事故ニ依リ此證書ヲ亡失シタルトキハ事實ノ生シタル日ヨリ十日以内ニ届出ヘシ

備

何年何月何日何某ト改稱届出ツ

山口縣知事印

考

第五號書式

(用紙美濃紙半折)

何府縣族籍

元職

何

某

右ハ何々(給與スヘキ事由ヲ記ス)ニ付一時金何圓給與ス

年月日

縣

名

縣報第六百七十六號

明治四拾年六月廿一日

第三種郵便物認可

九

第六號書式

巡查退隱料請求書

一金何 程

右巡查退隱料(何々給助年金)年額金何程明治 年 月ヨリ全年 月迄何ヶ月分御拂渡被下度別紙退隱料(給助)證書原本相添へ此段及請求候也

何府縣何郡市何町村何番地(本籍及住所共)

年 月 日

何 某印

山口縣知事宛

右當市町村內現住者ニシテ巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十一條第十二條及第十四條ニ抵觸スル者ニ無之事ヲ證明ス

年 月 日

市町村長 印

第七號書式

巡查退隱料請求書

一金何 程

右巡查退隱料年額金何程明治 年月ヨリ年月迄何箇月分同年月ヨリ年月迄滿何個年間山口縣巡查再勤續今回何々(事故)ニ依リ退職セシニ付前後月割額御拂渡被下度別紙退隱料證書相添へ此段及請求候也

何府縣何郡市何町村何番地(本籍及住所共)

年 月 日

何 某印

山口縣知事宛

右當市町村內現住者ニシテ巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十一條第十二條第十四條抵觸スル者ニ無之事ヲ證明ス

年 月 日

市町村長 印

第八號書式

巡査遺族扶助料請求書

一金何 程

右巡査何々(事故)死亡遺族扶助料年額金何程明治 年 月ヨリ全年 月迄何箇月分御拂渡シ被下度別紙扶助料證書謄本相添へ此段及請求候也

何府縣何郡市何町村何番地(本籍住所共)
故巡査何某遺族

年 月 日

(寡婦) (孤兒) 何 某 印

山口縣知事宛

右當市町村內現住者ニシテ巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十一條第十二條及第十四條ニ抵觸スルモノニ無之事ヲ證明ス

年 月 日

市町村長 印

第九號書式

巡査退隱料(扶助料)請求書

一金何 程

右巡査退隱料(扶助料)年額金何程明治 年 月ヨリ全年 月迄何箇月分明治 年 月 日ヨリ

年 月 日 迄何々(國籍喪失、在職中ノ犯罪ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ、) (孤兒二十歳ニ滿チ)

ニ依リ月割額御拂渡シ被下度別紙退隱料 扶助料 證書謄本相添へ此段及請求候也

何府縣何郡市何町村何番地(本籍住所共)

年 月 日

何 某 印

山口縣知事宛

右當市町村內現住者ニシテ本文ノ趣無相違事ヲ證明ス

年 月 日

市町 村 長 印

第十號書式

巡查退隱料(給助年金)請求書

一金何 程

巡查退隱料(給助年金)年額金何程明治 年 月 日何官職(現今ノ官職)拜命明治 年 月 日

リ 年 月 日ノ間ニ於ケル月俸額何程巡查退隱料(給助年金)受領ノ際退職當時ノ月俸何圓ニ付

退隱料(給助年金)差額明治 年 月 日ヨリ 年 月 迄何箇月分御拂渡被下度別紙退隱料(給助

料)證書謄本相添へ此段及請求候也

何府縣何郡市何町村何番地(本籍住所共)

年 月 日

何 某 印

山口縣知事宛

右當市町村內現住者ニシテ巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十一條第十二條及第十四條ニ抵觸セ

サレコトヲ證明ス

年 月 日

市町村長 函

第十一號書式

巡查(退隱料) 請求書
(扶助料)

一令何 程

右巡查(退隱料) 年額金何程受給者何某何年月日死亡年額何分ノ何程ニ當ル年月ヨリ年月迄何箇
(扶助料)

月分御拂渡被下度別紙(退隱料) 證書及戸籍謄本相添ヘ此段及請求候也
(扶助料)

何府縣何郡市何町村何番地

年 月 日

故何某遺族 何 某 印

山口縣知事宛

右當市町村內現住者ニシテ本文ノ趣無相違事ヲ證明ス

年 月 日

市町村長 預

○褒 賞

テール

壹脚

和歌山市本町二丁目

中村龜之助

國旗

壹對

全 北細工町

金澤彌吉

國旗

壹對

全 湊北町一丁目

南方茂兵衛

傘

十本

士族

中村よし枝

和歌山縣和歌山市立和歌山女子高等小學校備品トシテ頭書ノ物件寄付候段奇特ニ候事

明治四十年六月一日

和歌山縣知事

從五位 伊澤多喜男

ランプ

壹個

東牟婁郡下里村

塩地七藏

和歌山縣東牟婁郡下里村浦神尋常高等小學校備品トシテ頭書ノ物件寄付候段奇特ニ候事

明治四十年六月一日

和歌山縣知事

從五位 伊澤多喜男

綿製牛

外十三種

和歌山縣士族

中村義忠

和歌山縣和歌山市立和歌山幼稚園保育標本トシテ頭書ノ物寄付候段奇特ニ候事

明治四十年六月一日

和歌山縣知事

從五位 伊澤多喜男

傘

十本

和歌山市新八百屋町

木谷佐市

和歌山縣和歌山市立新北尋常高等小學校備品トシテ頭書ノ物件寄付候段奇特ニ候事

明治四十年六月一日

和歌山縣知事

從五位 伊澤多喜男

郵便貯金蠟紙(切手貼附)

五拾四枚

西牟婁郡二川村

石代鶴一

和歌山縣西牟婁郡二川村第一二二川尋常高等小學校生徒賞與品ノ内ヘ頭書ノ物件寄付候段奇特ニ候

事

明治四十年六月一日

和歌山縣知事

從五位 伊澤多喜男

○觀測

明治四十年六月十六日ヨリ三日間當地氣象概況

(前年對照)

月日	種類	前年	本年	前年	本年	前年	本年
六月十六日	均平氣壓	七九八耗八	七五九耗六	七五五耗七	七六〇耗九	七五〇耗七	七五四耗二
	平均氣溫	一九度八	一八度五	二一度五	一九度〇	二二度三	一八度九
	最高氣溫	二四度五	二五度二	二七度五	二三度八	二八度〇	二二度八
	最低氣溫	一四度四	一一度八	一六度八	一五度一	一八度八	一五度八
	最多風向	西	北	南	東	東	南西
	平均風力	二米八	二米九	三米六	二米九	三米七	一米七
	天氣	晴	晴	曇后雨	曇	雨后晴	曇微雨
	雨雪量	一	一	〇耗三	〇耗二	三〇耗七	二耗一
	記事現象	午前九時半海上風雨警報到着 午后日量現ル	日暈ヲ映ス	午后降雨ス	夕刻海上雨風ノ警報到着 夜間降雨	午前降雨ス	時々微雨 夕刻海陸風雨 警報着電

縣報第六百七十六號

明治四拾年六月廿一日 第三種郵便物認可

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

縣報第六百七十六號

明治四拾年六月廿一日 第三種郵便物認可

一六終

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

和歌山市久保町一丁目一番地